



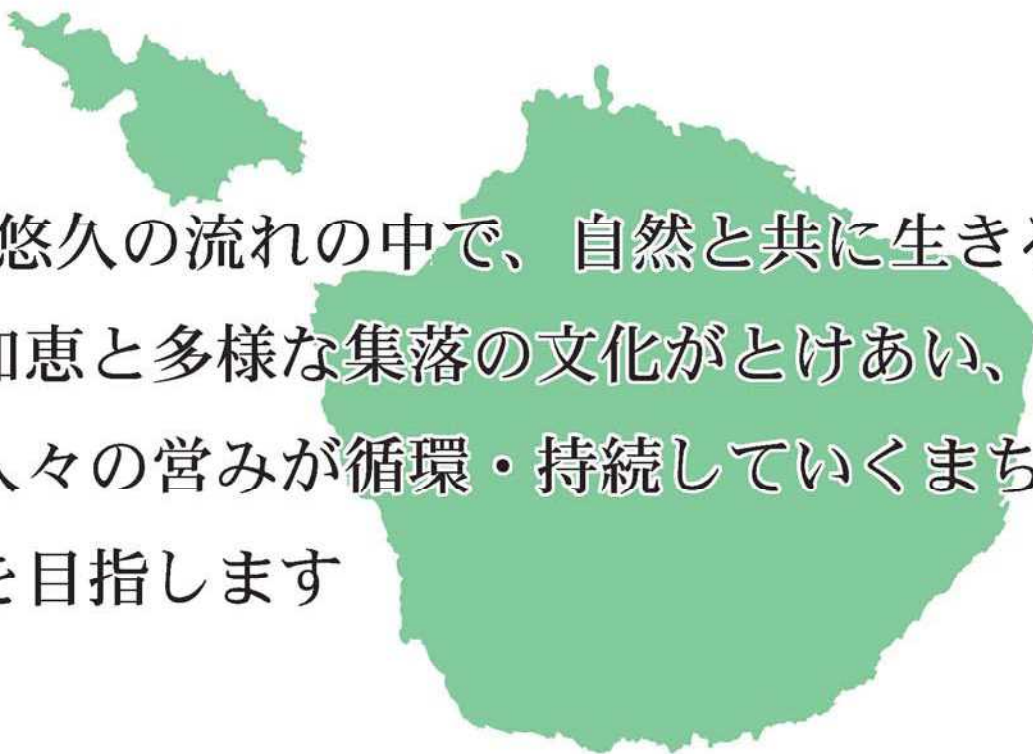
わたしたちの まちの未来

～第一次振興計画基本構想～
【平成21年度～平成30年度】

鹿児島県 屋久島町

第4章 基本構想

第1節 基本理念



『悠久の流れの中で、自然と共に生きる
知恵と多様な集落の文化がとけあい、
人々の営みが循環・持続していくまち』
を目指します

自然と共に生き、あらゆるものが循環する
暮らしと営みを守り、持続させ、育んでいきます

多様な暮らし、多様な集落の文化を持続
していきます

あらゆる人が輝き、住民自らの手でつくる屋久島
スタイルのまちづくりを進めていきます

〈基本理念の考え方〉

屋久島には、奥深い山の自然、生活の背景となる森や山、そこから流れ出る川、清らかな水、表情豊かな海があります。その中で育まれてきた農業、林業、水産業があります。それらを支えとして培われてきた集落固有の祭りや民俗芸能、神社・仏閣などの歴史・文化があり、それらに根ざした暮らしぶり、集落の営みがあります。これらすべてが個性的であり、多様性をもっていることが屋久島の価値といえます。

世界自然遺産登録を契機に「自然の価値だけがクローズアップ」され、自然だけが一人歩きしつつあるのが現状です。口永良部島が国立公園に編入された今、これを契機に、今一度、わたしたちの島を、暮らしを、その価値を、後世に伝えるためにも改めて見つめ直す必要があります。

これからは、悠久の流れという果てしなく長くつづく時間の中で、脈々と息づいてきた島の生い立ちや歴史を振り返り、先人たちが培ってきた自然と共に生きる暮らしぶりやこころのやさしさ、思いやり、強さをもう一度掘り起こし、新たな価値を創造するとともに、集落固有の多様な歴史・文化を受け継ぎながら、これらの多様性を語り合い、認め合い、とけあわせた中で、島に暮らす人々の営みを未来永劫絶やすことなく循環・持続させていくということを「まちづくりの基本理念」とします。



第2節 まちづくりの目標

基本理念を実現するために、次の9つを屋久島町の具体的な目標とします。

そして、「住民・集落」と「行政」が「まちづくりの基本理念」を共有しながら、「対話」と「協働」により、それぞれの役割・責任を分担しあう『屋久島スタイル』のまちづくり形態を創りあげ、新しいまちの姿（将来ビジョン）を実現させていきます。

①固有の自然に抱かれた多様性を育むまちづくり

島固有の自然、雄大で豊かな恵みをもたらす自然を背景に、集落および島全体の多様性ある文化、暮らし、産業、交流を育むまちの創出を目指します

- ・日本の中でも傑出した地形、様々な環境を備えた特有の表情をもつ森、特異な気候風土、これらの固有の自然環境を背景に培われてきた歴史・文化・人々の心を継承し、集落の多様性、島全体の多様性を今後も守り、育んでいくまちを目指します。
- ・自然と営みの関連性を重要視し、その環境を誇りに思う心を育成していきます。

②自然資源の恵みを生かした循環型社会のまちづくり

自然環境、生活を取りまく環境を保全し、それを背景とした多様な生活文化を大切にする心を受け継ぎ、これらの多様性ある環境と共に生きる循環型社会の創造を目指します

- ・自然の恵みがもたらす恩恵を享受して、わたしたちのまちは発展してきました。自然環境を基本的資産としたわたしたちの取組みは、永続的なものです。この考えをさらに普及、発展させて各産業が連携した地産地消のまちづくりを進めます。
- ・循環型社会は、わたしたち一人ひとりが率先して行動を起こすことから築くことができます。この自覚を持ち、自然環境や生活環境のさらなる保全に、各家庭や集落単位で取り組みます。

③豊かな地域資源を活かした産業活動を展開するまちづくり

地域資源を活かし、島の環境、暮らしぶりに根ざした農業・林業・水産業や製造業のあり方や付加価値の追求、資源循環型産業の活性化と新たな芽づくり、豊かな自然、農業・林業・水産業環境を活用した体験型観光、屋久島ならではの固有資源を活かした製造業など新たな魅力ある産業の創出・発展を目指します

- ・地域にある様々な固有の資源を活用した内発型の産業づくりを進めます。
- ・屋久島の気候風土に見合った新たな産業などの創出や研究・開発する環境づくりもあわせて行い、環境適合型の産業の創出を検討していきます。
- ・これにより、地域住民の雇用・所得を確保し、地域で暮らしていくための経済基盤の確立を目指し、定住も促進していきます。

④集落・地域が連携し、住民・行政が協働する屋久島スタイルによるまちづくり

情報基盤、交通基盤の整備による各集落・地域の有機的ネットワークと、集落の自立・自治を礎とした新たなまちづくりシステムの導入による行政と住民の役割分担と行財政システムの確立を目指します

- ・自分たちでまちづくりのシナリオを書き、自分たちで演出し、自分たちで主体的に演じ、自分たちで感動するシステムづくりを屋久島スタイルとしていきます。
- ・まちづくりの理念のもと、まちづくりの計画段階から、施策・取組・事業の展開、施策評価に至るまで住民が参画していくとともにコミュニティを通じて集落の自立・自治を強かに推し進めていきます。
- ・「環境」や「自然」、「暮らしぶり」、「地域文化」などの屋久島ならではのキーワードをベースに、理念実現に向けた住民と行政が協働する屋久島特有のスタイルのまちづくりを推進していきます。

第5章 基本計画

第1節 まちづくりのための方針と施策

わたしたちのまちが目標を達成するために、分野ごとに「目指す方向（方針）」と「実現するために必要なこと（施策）」を掲げます。



誇れる暮らしぶりのよりどころとなる文化への愛着づくり

屋久島での生活の背景となる集落固有の文化を大切な財産として認識し、慈しみ、愛情を持って守り育てていきます。

また、屋久島のすぐれた自然環境は、人と情報が行き交う多様な交流の場となるものであり、新しいまちづくりの重要な発展基盤の一つとして位置づけます。

●固有の歴史文化の保存・継承と活用

●屋久島環境文化村構想の推進

●文化活動の推進

●環境学習による交流の促進

自然環境

暮らしと自然環境、産業と自然環境との良好な関係づくり

屋久島での多様な営みを大きく包み込み、必要で欠くことのできない共に生きるパートナーとしての自然環境との関係を見つめ直し、誇りのもてる関係づくりを築き、継続させていきます。

自然環境の施策については、屋久島の自然を誇りに思う心の教育や暮らしと自然環境との関わり、自然環境を守り、育て、いとおしむ心の醸成を目指しながら、全ての生き物が暮らす場としての環境保全機能の増進、豊かな暮らし・活力ある産業振興を図るため、自然環境の適切な利活用を図っていきます。

●自然環境の保全・保護・活用

●環境にやさしい循環型・低環境負荷型の地域づくり

●森林環境保全機能の増進





屋久島と地域の誇りが伝えられる観光産業づくり

まちの経済活動と連携し、屋久島の固有の自然と多様性ある暮らしぶりを背景とした屋久島で過ごす時間を大切にしたい屋久島独自の観光づくりを進めていきます。

- 地域の自然・暮らしの価値観が共有された観光産業の育成とルールづくり
- 観光と他産業との連携
- 「環境文化」を実感できる観光地づくり
- 「癒しの島づくり」健康保養型観光の推進
- 観光交通アクセスの充実・強化、快適性の向上
- 島全体で観光客を迎え入れる体制づくりとおもてなしの心づくり
- 自然に負荷をかけない観光のあり方の早期検討

